



大野市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

第 225号
発行日 令和7年10月31日
発行者 和泉公民館
大野市朝日第25号5番地
電話 0779-78-2110
FAX 0779-78-2821
メールアドレス
izumi-k@city.fukui-ono.lg.jp

和泉地区住民の動き R7.10.1現在(前月比)
人口:379人(-2) 男:187人(-1) 女:192人(-1)
世帯数:198世帯(±0)

第10回和泉合同体育大会 ~和泉地区体育協会~

9月28日(日)に和泉合同体育大会が和泉小学校グラウンドで開催されました。今大会は誰でも参加しやすい大会となるよう、体力に自信のない人も参加できる種目を組み入れて開催しました。

たくさんの住民が集まる合同体育大会を楽しみに待っていた皆さんの元気な声援が響く中、選手たちはどの競技も力いっぱい頑張っていました。



和泉合同体育大会をよりよくするため、ぜひご意見をお寄せください

先日は、第10回和泉合同体育大会に約150名の参加いただき、無事終えることができました。誠にありがとうございました。

さて、今後の体育大会をより一層盛り上げ皆様に楽しんでいただくため、ご意見を伺いたく、アンケートを実施します。お忙しいところ恐れ入りますが、**別紙アンケート用紙またはアンケート用紙に記載のQRコード**から回答にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、アンケート用紙は、各区長・班長にご提出いただき、各区長・班長は『**アンケート入れ封筒**』に入れていただき、**11月28日(金)までに**和泉地域交流センター(和泉公民館)にご提出いただきますようお願いいたします。

11月 3日 文化の日 『自由と平和を愛し、文化をすすめる日』です。
11月23日 勤労感謝の日 『勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日』です。
国旗を掲げましょう！

※館報をカラーでご覧になりたい方は大野市ホームページでご覧いただけます。
また、カラー版をご希望の方は、公民館までお越しください。



11月行事予定



日	曜日	行事
1	土	
2	日	
3	月	文化の日
4	火	
5	水	より処
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	第2回空き家マッチングツアー
10	月	
11	火	いきいき発表会 作品展示 6日(木)~21日(金)
12	水	健康プラスデー
13	木	【講座】オルゴナイト作り体験会
14	金	【講座】穴馬紙すきにチャレンジ①
15	土	

日	曜日	行事
16	日	ふるさと教育研修
17	月	
18	火	【講座】手芸教室①
19	水	より処
20	木	
21	金	【講座】穴馬紙すきにチャレンジ②
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	【講座】手芸教室②
26	水	より処
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	

和泉分遣所だより

11月9日~15日は秋季火災予防運動です
急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

これからの時季は、暖房器具の使用が増えるため火の取り扱いに十分注意してください。石油ストーブの給油は必ず火を消してから行い、電気ストーブやこたつの周囲には燃えやすい物を置かないようにしましょう。

コンセントまわりのほこりも火災の原因になりますので、定期的な清掃をお願いします。

火災は日頃の備えと注意で防げます。住宅用火災警報器の点検や感震ブレーカーを設置するなど、安全な冬を迎えましょう。

感震ブレーカーとは？

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

和泉分遣所 TEL 78-2119

住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- こんろを使うときは火のそばを離れない
- コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

6つの対策

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 火災の拡大を防ぐために、扉扉を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する
- 火災を小さく抑えるために、消火器を設置し、使い方を確認しておく
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確認し、備えておく
- 火災防炎訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

フードライブにご協力ください ~環境・水循環課~

日時 12月1日(月)~12月5日(金) 午前8時30分~午後5時15分
場所 和泉地域交流センター(他公民館、市役所市民ホールでも受け付けています)
【寄付いただきたい食品】 未開封で賞味期限が1ヵ月以上残っている常温保存可能なもの
(例) お米、乾麺(パスタや素麺など)、缶詰、レトルトやインスタント食品、海苔、お茶漬、ふりかけ、調味料、お菓子 ※お米はお一人90kgまで、令和6年産以降のもののみ

ふるさと教育研修 伝統的な町並みを学ぶ(若狭熊川宿)

日 時	令和7年 11月16日(日)	午前7時～午後5時30分
行 程	7:00	和泉地域交流センター 出発
	9:30～10:30	福井県年稿博物館
	10:55～11:55	福井県立若狭歴史博物館
	12:10～13:25	昼食(若狭フィッシャーマンズワーフ 海幸苑)
	14:00～15:00	道の駅若狭熊川宿(熊川宿散策)
	17:30	和泉地域交流センター 到着
参加費	2,970円(昼食代、保険料含む)	
定 員	30名 参加費を添えてお申込みください。	
申込期限	11月11日(火)	

※詳しくは、研修旅行チラシをご覧ください。



オルゴナイト作り体験会

好きなカラーと飾りアイテムを使って簡単に作ることができます。
自分好みのオルゴナイト作りを体験してみませんか？

日 時	11月13日(木)	午後6時30分～8時30分
場 所	和泉地域交流センター	
講 師	studioシリ 岡部 香織さん	
参加費	3,000円(材料費)	
	※パワーストーンと封入アイテム代含	
定 員	10名(先着)	

申込期限 11月7日(金)

手芸教室

保冷保温シートを使って、飲み物をいつまでも冷たく&いつまでも温かくキープできるペットボトルカバーを作ります。

日 時	＜第1回＞11月18日(火)	＜第2回＞11月25日(火)
	すべて午後1時30分～3時30分	
場 所	和泉地域交流センター	
講 師	中村 和江さん(日本手芸協会講師)	
参加費	800円(材料費)	
持ち物	裁縫道具	
定 員	10名(先着)	

申込期限 11月11日(火)



【いずみ♡サポート隊】より

ボランティア利用体験を11月23日(日)に実施します！

10月下旬から11月上旬にかけて、【いずみ♡サポート隊】のメンバーが一人暮らし・二人暮らし高齢者等の自宅を訪問し、利用体験の説明をさせていただきます。この機会にぜひご利用してみてください。

又、ボランティア募集のチラシ・申込書を全戸配布します。
QRコードでの申込みも可能となっていますので、皆様のご協力・ご参加をよろしくお願いいたします。

【いずみ♡サポート隊】相談窓口 090-8906-4114
担当 生活支援コーディネーター 森尾 喜久代

和泉地区敬老会 ～和泉自治会～

10月11日(土)午後1時30分より、和泉地区内に住所を有する75歳以上の方々をお招きし、和泉小学校体育館で開催されました。ご来賓として石山市長、滝波議員のご臨席をいただき、自治会代表があいさつをされ、皆さんの長寿を祝福しました。笑顔あふれる楽しい雰囲気の中、和泉小学校の皆さんによる昇龍太鼓のアトラクションでは、感動して涙を流す方もいらっしゃいました。和泉駐在所の山田警部補が所属する警察音楽隊の演奏では、演奏レベルの高さや隊員の皆さんによる多彩なパフォーマンスに自然と体が動き、一緒に歌ったり手拍子をしたりして、会場全体が一体となって楽しむことができました。



笹生川ダムまでサイクリング

10月18日(土)に真名川ダムから笹生川ダムまで往復しました。紅葉はまだまだでしたが、サイクリングは秋の澄んだ空気の中を走るのに最適でした。



秋を見つけに行こう

10月20日(月)に開催し、国民休養地まで散策しました。児童たちは雑木林などで落ちているどんぐりを探したり、駐車場を走り回ったりしていました。



ハロウィンパーティー

10月27日(月)に畑口 直美さんを講師に迎え開催しました。サツマイモを入れたホットケーキ作り、ボーリングゲーム、子供たちが企画したハロウィン3択クイズをしてハロウィンパーティーを楽しみました。



穴馬紙すきにチャレンジ！

材料の刈取りから紙すきまでの工程を、全5回シリーズで行います。和泉小学校の皆さんと一緒に紙すきを体験しませんか！

日 時	＜第1回＞11月14日(金)	こうぞの刈取り
	＜第2回＞11月21日(金)	こうぞの皮はぎ
	＜第3回＞12月3日(水)	ハウツギ皮はぎ、灰汁作り

すべて午後2時～3時30分

集合場所	和泉地域交流センター
講 師	西 二郎さん
参加費	無料
定 員	15名

申込期限 11月10日(月)



今月の図書紹介



あなたが僕の父

老いてゆく父のもとへ帰ってきた息子。向き合えずにいた親子が紡ぐ、かけがえのない日々。

著 者 小野田 史宜
発行者 箕浦 克史

日々、発酵くらし

本書は『おひとり農業』の続編として「発酵保存食」というテーマで書き上げた本です。

著 者 岡本 よりたか
発行者 清田 名人

